

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金
2026 年度第 37 回通常総会議事録

- 1 開催日時 : 2026 年 5 月 24 日 (日) 15 時 30 分～17 時 00 分
- 2 開催場所 : 東京第一友の会 (友の家) (東京都豊島区池袋 2-20-11)
- 3 社員会員総数 : 49 名
- 4 出席者数 : 34 名 (うち会場出席者 11 名、オンライン出席者 3 名、書面議決権行使表決者 17 名、委任状表決者 3 名)

5 審議事項

- 第 1 号議案 2025 年度事業報告および活動計算書承認の件
- 第 2 号議案 2026 年度事業計画および活動予算書承認の件
- 第 3 号議案 議事録署名人選任の件

6 定数の確認

柳原さつき事務局長より、本日の社員総会は社員会員の会場出席者 11 名、オンライン出席者 3 名、書面議決権行使表決者 17 名、委任状表決者 3 名の計 34 名の出席者により、定款第 29 条に定める社員会員総数の 2 分の 1 以上の定足数を満たしており、有効に成立している旨の報告があった。また本日の会議は会場である東京都豊島区池袋の友の家と各所からのオンライン参加 (Zoom によるオンライン会議システム) を併用する形での開催となるが、オンライン会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる仕組みとなっている旨が説明された。次いで荒谷出理事長が開会挨拶を行った。

7 議長選任の経過

柳原事務局長より、定款第 28 条により「総会の議長は、その総会に出席した社員会員の中から選出する。」となっている。自薦他薦の方がいなければ、本総会議長の選任にあたり荒谷出理事長を推薦したい旨発議があり、議場に諮ったところ満場異議なく荒谷出理事長が議長に選任された。続いて荒谷議長が本総会を開会する旨を宣言し、直ちに議案の審議に入った。

8 議事経過の概要及び議決の結果

第 1 号議案 2025 年度事業報告および活動計算書承認の件

別紙資料に基づき、柳原さつき事務局長より 2025 年度事業報告について (総会資料 p2～12)、続いて天野海走財務理事より 2025 年度活動計算書に関する要点の説明がなされた (総会資料 p13～16)。天野理事の説明においては、会員数の減少が継続している状況への言及があった。また、収入の主な増加要因が遺贈やクラウドファンディングによるものであり、会費・寄付の継続的な伸びによるものではないので引き続き注視が必要である旨が述べられた。なお、本年度は黒字決算となった。説明の後、桃井明男監事・大江浩監事から監査報告書に基づき、監査の結果、法人の業務執行および会計処理ならびに財産の状況は適正であった旨報告された。

説明後の質疑応答は次の通りである。(⇒以下は回答)

- ・出席者から資料 p12 の役員一覧の標題「2025～2026 年度」について質問があり柳原事務局長から「2026 年度」に修正する旨返答があった。

- 資料中に「ノンフォーマル小学校」という呼称が使われているが、これはかつての「寺子屋」という呼び方からの変更か。⇒ビジョンの更新に際し、活動実態に即した呼称に改めたものである。(2019年～2020年ビジョニング作業、2021年度社員総会で公表)
- かつての識字率は30%台と聞いているが、現在の識字率はどの程度か。⇒現在は76%と報告されている。
- 尊厳教育とはどのような内容か。⇒ビジョンの更新の際に、活動を包摂する理念として尊厳尊重の考え方を掲げたものである。
- バングラデシュにおける同国政府の初等教育支援の位置づけについて確認したい。⇒初等教育支援は既に現地の公的支援対象となっており、ACEFとしては、現在はセーフティネットから漏れている人々への支援を対象としている。

第1号議案について質疑が出尽くしたところで議長が採決をとり、出席社員会員の満場一致で原案通り可決、承認された。

第2号議案 2026年度事業計画および活動予算書承認の件

別紙資料に基づき、柳原さつき事務局長より2026年度事業計画案について(総会資料 p18～20)、また天野海走財務理事より2026年度活動予算書案について(総会資料 p21)、それぞれ要点の説明がなされた。事業計画の説明において、1月または2月を目途に一般参加者を対象としたスタディツアーを実施する予定である旨が報告された。また予算案の説明において、BDPへの今年度送金額は400万円となる旨が説明された。

第2号議案について質疑なく、議長が採決をとり出席社員会員全員一致で原案通り可決、承認された。

第3号議案 議事録署名人選任の件

議長より、定款第32条第2項により議事録署名人を選任するにあたり立候補を募ったところ、議長が出席者の中から安部由紀子氏および朴憲郁氏を推薦し、議場に採決を諮ったところ、満場異議なく承認された。

9 報告事項

- 尊厳インターンの山宮叶子氏より、尊厳の学びに関する紹介が行われた。
- 河見誠理事より、ユース活動および支援強化(指定寄付)について出席者への呼びかけがなされた。
- 天野理事より、新宿区へのふるさと納税「わが町応援寄付」をACEF指定で行うことにより、2,000円の自己負担で寄付額の7割が当法人に還元される制度について案内があった。

議長は、以上をもって総会の議事は全て終了した旨を宣し、17時00分に閉会を宣言し解散した。なお、オンライン会議システムにより出席者の音声即時に他の出席者に伝わり出席者が一堂に会するのと同様に、適時かつ的確な意見表明が互いにでき

る状態にあり、終始異状なく進行した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2026年 5月 24日

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金 第37回通常総会

議 長 荒谷 出



議事録署名人 安部 由紀子



議事録署名人 朴 憲郁

